

日本海水と NPO 健康福祉研究会の共同開発により 温泉中のヒ素を低コストで安全に除去するシステムを実用化

～温泉ヒ素除去システム『アルセニック（AR-1）』製造・販売開始～

株式会社日本海水（本社：東京、代表取締役社長：植岡佳樹）と NPO 健康福祉研究会（代表池田充宏）は、温泉地を対象に排水中の 3 価の亜ヒ酸及び 5 価のヒ酸の無機態を前処理することなく、吸着・除去するために開発されたヒ素除去システム「（注 1）アルセニック（AR-1）」の製造・販売いたします。これまでの装置に比べ運転管理が容易で汚泥や産業廃棄物も発生しません。

（注 1）アルセニック（arsenic）とはギリシャ語 arsenikon（雄黄：ゆうおう）に由来する。

【アルセニックの特徴】

- カプセルタイプで低コスト
- 砒素濃度に応じた設計が可能
- 汚泥や産業廃棄物も発生せず、カプセルを取り替えるだけ
- 運転管理が容易
- 安全かつ衛生的

【アルセニックが必要とされる社会的背景】

近年、ヒ素の毒性及び発ガン性が改めて見直され、環境基準や排水基準をはじめ、各種の基準が強化されてきました。さらに最近ではヒ素による問題は茨城県等の井戸水で発生し、報道で取り上げられるなど、全国的にヒ素に対する意識が高まっています。井戸水（飲料水）中に含まれるヒ素も例外ではありませんが、温泉に含まれるヒ素の問題は、排水基準をはじめ現在のところあまり表面的には問題になっていませんが、今後は深刻な環境問題になることは間違いありません。しかし、現在のところ多額のプラント建設費用などが障害となり、ヒ素除去の対策が遅れているのが現状です。

【排水基準】

人の健康の保護に関する環境基準（最終改正 H7 年環境庁告示）及び水道水の水質基準等では「ヒ素」の基準値を 0.01mg/L 以下と定めています。また告示では「ヒ素及びその化合物」の排水基準を 0.1mg/L 以下と定めています。

【販売価格】

アルセニック・システム（AR-1） 標準小売価格（税別） 4,000,000 円（除去カプセル 6 個含む）

取替え用カプセル（1 個） 標準小売価格（税別） 400,000 円

※標準仕様：次ページ参照 ※システム、価格は設置地域、場所によりシステムの異なることがあります。

【アルセニックお問い合わせ先】

☐吸着素材・技術関連 株式会社 日本海水 環境事業部（担当：四元）

〒103-0011 東京都中央区日本橋大伝馬町 10 番 6 号 フォーリッチビル 5 階
TEL：03-5652-8756 FAX：03-5652-7757

☐開発関連 NPO 健康福祉研究会（担当：見永）

〒103-0004 東京都千代田区二番町 7-5 ステラ二番町 302 号室
TEL・FAX：03-3261-3050

☐販売窓口 株式会社 協同宣伝 業務開発部（担当：浅野）

〒102-8522 東京都千代田区三番町 3-8 泉館三番町 1 階
TEL：03-5212-7963 FAX：03-5212-6911

《リリースに関するお問合せ先》

株式会社日本海水広報代理 （有）インテグレートコミュニケーションズ

TEL：03-5464-2046 FAX：03-5464-2076 〒107-0062 東京都港区南青山 5-4-35-1106

報道資料

2006 年 5 月 16 日 (火)

●アルセニックの標準仕様の概要と機器類



① 原水槽 (1)	② ヘアーキャッチャー (1)	③ 原水ポンプ (1)
④ 砂ろ過器 (1)	⑤ 砒素吸着塔 (6)	⑥ 圧力計 (2)
⑦ 流量計 (3)	⑧ 積算流量計 (1)	⑨ 制御盤 (1)

●アルセニック標準仕様フローシート

商品一覧表

番号	名称	材料・型式	メーカー	数量
①	T-101 源水槽	垂直円筒型	-	1
②	P-101 ろ過器	FRP	ショウエイ	1
③	R-101 吸着塔	FRP	佐々木化学	6
④	制御盤	自立ボックス型	-	1
⑤	積算流量計	BC	アイチ時計	1
⑥	圧力計	BC	長野計器	2
⑦	流量計	AC 型	東京計装	3
⑧	源水ポンプ	CRN 型	グルンドフォース	1
⑨	ヘアーキャッチャー	-	ショウエイ	1

